



NO. 805
 発行
 13・12月10日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 上石 昌彦
 編集責任者
 教 宣 部

苦勞さまででした



地本退職者激励会 2013年11月23日

2013年退職者名簿

- 関川和彦 南長岡駅
- 田代恒美 新潟車両センター
- 伊藤一仁 新潟工務分会
- 波方喜義 南長岡駅
- 山口徳衛 新幹線第一運転所
分会
- 木村勝重 東新潟機関区
- 斉藤仁司 長岡運輸区



地本退職者激励会が11月23日に開催されました。地本事務所です。開会あいさつから福富組織部長の開会あいさつではじまりました。



上石委員長 あいさつ



はじめに、上石執行委員長からあいさつがありました。

「今年は7名が退職されます。長い間大変ご苦勞さまでした。まだ65歳まで職場でがんばっていかねければなりません。その後、退職者組合へ。もう少し力を貸してください」とありました。

来賓あいさつ

退職者組合・守橋事務局長からあいさつがありました。

「長い間ご苦勞さまでした。本来なら、退職者組合へ加入ですがもうひとふんばり頑張つて欲しい。安倍内閣は暴走している。社会保障など大変な状況になっている。医療・介護・年金・子育てなど問題が発生している。退職者組合と現職と一体となって取り組んでいかなければならない。退職者組合では、要請行動・署名・集会への参加・行動を実施している。ぜひ退職者組合への加入をお願いしたい。」とありました。



その後、退職者の紹介、賞状授与が行われました。懇親会は場所を新津の「割烹・ますがたや」へ移動し退職者からのあいさつ・各支部・各分会の代表から「激励のことば」がありました。



国鉄労働組合新潟地方本部



NRU 2014年 地本旗開き 2月1日



「さすがたや」に会場を移動し田澤書記長の乾杯の音頭で開会しました。30分くらい過ぎて退職者からあいさつがありました。そして支部・各分会の代表者から激励のことがばがありました。

懇親会は約2時間あまりでしたが昔の国鉄当時のことが話され盛り上がりつつありました。

国鉄労働組合を全体で肩を組んで歌いました。最後は上石委員長の団結がんばろうで終了しました。



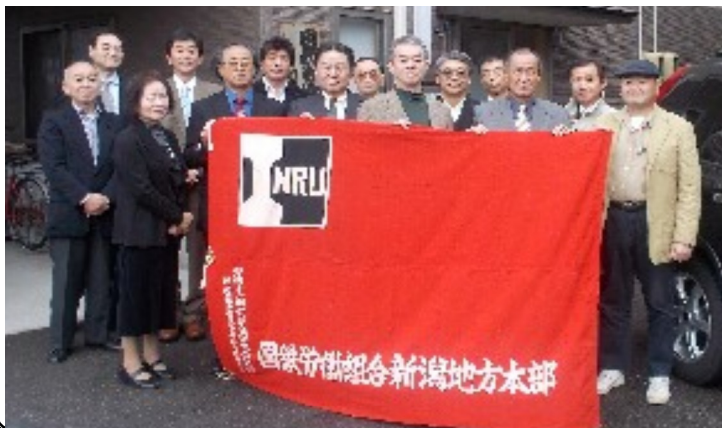
退職者のあじろ

○昭和51年4月国鉄入社、22歳だった。最初に酒田へ赴任した。国労酒田の人達からお世話になった。それから吉田へ転動となった。国鉄に入社する前にスト権ストで荷物運べなかった。国労に加入してストライキ・ピラはり・国鉄分割民営化など、さまざまな思い出がある。

○スト権ストの時に国鉄に入社した。列車がストップしたためレールは真赤になった。大白川駅へ転勤、そして直江津駅へ転勤して国労に加入した。スト権ストをわかる人がいなくなったのは。1週間列車が止まった。臨雇の時国労加入するつもりだった。

○昭和49年4月支社採用、6ヶ月間学園で教育、その後現場で教育、全ての職種を経験した。新幹線総局に配属、その後新幹線へ。上越新幹線開業の時に新潟へ転動になった。すべて新幹線関係の業務だった。東京にいる時、合唱団に所属、風雪も練習した。

○昭和50年6月入社、この時にスト権ストを経験した。長操にいた。国鉄入社のきっかけは、農家だけだと駄目だと思ひ、いろいろ体験して国鉄へ受験した。そして合格した。



配属された長操は事故が多発していた。国労から加入のオルグがあった。青年部からもアプローチがあった。つらいことがいろいろあった。良い思い出になっている。国労の先輩方々に感謝している。激励される会なので、せいじっばい激励されたいと考え、65歳までがんばっていききたい。

○仕事はまだ続いている。60歳で辞める人はいない。感慨は無い。中間的な区切りだ。組合的にもまだやることがあるのかなあ。まだまだ休む時期ではない。これから大変だと思うが、まだしばらく地本でがんばっていききたい。